

# 令和3年度 埼玉県社会福祉事業団 事業報告書

## 1 本部事務局

理事会・評議員会の運営及びその決定に基づく各事業の調整、人事、財務を適切に実施するとともに、県・市町村等との協議・連絡調整を行った。

### 1 理事会・評議員会の開催

#### (1) 理事会

	開催日等	決議事項
第1回 〔決議 省略〕	決議されたとみなした日 令和3年6月8日(火)	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 令和2年度事業報告及び決算について</li> <li>2 障害者支援施設花園施設増築工事に係る契約の締結について</li> <li>3 理事候補者の選定について</li> <li>4 監事候補者の選定について</li> <li>5 会計監査人の再任について</li> <li>6 評議員候補者の選定について</li> <li>7 評議員選任・解任委員会の招集について</li> <li>8 評議員選任・解任委員の選任及び細則の一部改正について</li> <li>9 令和3年度定時評議員会の招集について</li> </ol>
第2回	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 日時 令和3年11月18日(木) 13:30~14:10</li> <li>2 会場 埼玉会館</li> <li>3 出席理事 理事総数8名中7名</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 職員給与規程の一部改正について</li> </ol>
第3回 〔決議 省略〕	決議されたとみなした日 令和4年3月14日(金)	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 社会福祉法人埼玉県社会福祉事業団諸規程の一部改正について</li> <li>2 評議員会の招集について</li> </ol>
第4回	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 日時 令和4年3月28日(月) 13:30~14:15</li> <li>2 会場 埼玉県県民健康センター</li> <li>3 出席理事 理事総数 8名中8名</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 令和3年度補正予算について</li> <li>2 中期経営計画の策定について</li> <li>3 令和4年度事業計画及び予算について</li> <li>4 社会福祉法人埼玉県社会福祉事業団定款の変更について</li> <li>5 指定管理に係る年度協定の締結について</li> <li>6 役員賠償責任保険の契約について</li> <li>7 業務委託契約の締結について</li> <li>8 社会福祉法人埼玉県社会福祉事業団諸規程の一部改正について</li> <li>9 理事候補者の選定について</li> <li>10 施設長等の選任について</li> </ol>

## (2) 評議員会

	開催日等	決議事項
第1回 〔決議省略〕	決議されたとみなした日 令和3年6月25日(金)	1 令和2年度事業報告及び決算について 2 理事の選任について 3 監事の選任について
第2回	1 日時 令和4年3月28日(月) 15:00~16:00 2 会場 埼玉県民健康センター 3 出席評議員 評議員総数16名中12名	1 令和3年度補正予算について 2 令和4年度事業計画及び予算について 3 社会福祉法人埼玉県社会福祉事業団定款の変更について 4 役員及び評議員の報酬等に関する規程の一部改正について 5 理事の選任について

## 2 監査の実施

### (1) 監事監査

監事監査実施日	受 検 施 設
5月18日(火)	本部事務局
5月20日(木)	本部事務局(上里学園、花園、嵐山郷、あさか向陽園、障害者交流センター含)

### (2) 会計監査

公認会計士を監査人とする会計監査を実施し、会計書類の正確性と経営の透明性の確保に努めた。

## 3 各施設の管理

施設長会議(毎月1回)や施設巡回指導などを通じて、理事会が決定する事業計画を円滑に推進させるとともに、各施設で生じた課題等に対処した。

### (1) 指定管理事務の円滑な推進

前年度の事業報告及び翌年度の事業計画、その他指定管理業務に係る書類の提出など、指定管理者事務を円滑に推進した。

### (2) 自主経営施設の健全な運営

効率的な施設運営を行うとともに、施設の利用率向上に努め、事業の継続やサービス向上に必要な財源を確保し、健全な経営基盤の確立を進めた。

### (3) 既存施設の改築

障害者支援施設皆光園の改築に係る仮設棟工事に着工した。

### (4) 児童の自立支援

上里学園、おお里及びいわつきの児童養護施設において、①就職に向けた社会・就労体験事業(企業での就労体験)、②民間企業OB及び地域サポーターによる進路(就職・進学)支援事業、③施設退所後のアフターケアの3つの事業を実施した。

また、大学等進学を希望する児童に対する経済的な支援として、児童養護施設入所児童大学等進学支援資金給付要綱に基づき、申請のあった児童について速やかに対応を行った。

### (5) 危機管理体制の強化

事故防止やヒヤリハットの取組を進めるとともに、役員や本部職員が各施設を巡回し、夜間時の職員配置や処遇状況、利用者支援上の問題点や兆候の把握状況などを点検・指導した。

### (6) 利用者の権利擁護

全施設において利用者の権利擁護と虐待防止を徹底するため、全職員を対象としたセルフチェックを実施するとともに、権利擁護研修を開催した。

#### 4 人事管理

(1) 正規職員の職種別の現員状況 令和4年3月31日現在(人)

区分	定数	事務職	支援員等	栄養士	医師	歯科医師	看護師	歯科衛生士	薬剤師	診療放射線技師	臨床検査技師	理学療法士	聴能訓練等	合計
計	574	71	401	10	3	5	38	7	2	0	0	3	4	544

※ 欠員の内訳：医師1人、臨床検査技師2人、放射線技師1人、理学療法士1人、支援員18人、看護師7人

(2) 令和3年度新規採用者 (人)

職種	支援員	看護師	歯科衛生士	医師	歯科医師	合計
人数	35	2	2	1	1	41

(3) 令和3年度退職者 (人)

退職理由	定年	勸奨	自己都合	その他	総数
人数	8	4	20	1	33

#### 5 職員研修 ※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため回数・内容を限定し実施

(1) 基本研修（開催回数8回・受講者数167人）

研修名	回数	受講者数
採用時研修Ⅰ	2回	44人
初級研修Ⅰ	2回	37人
初級研修Ⅱ	2回	48人
新任主任研修	1回	25人
新任監督者研修	1回	13人

(2) 特別研修（開催回数3回・受講者数69人）

研修名	回数	受講者数
安全運転講習	1回	21人
権利擁護研修	1回	30人
ハラスメント防止研修	1回	18人

#### 6 財務管理

社会福祉法人会計基準に基づく会計規程により、適正な財務管理に努めたほか、予算・決算の開示による透明性の確保を図った。

また、透明性・競争性を確保するため、業務委託及び物品購入等に関する入札を実施した。

## 2 上里学園

入所児童が安全で安らぎのある生活が送れるよう養護するとともに、児童の自立に向けた支援を行った。

被虐待児など心に傷を負った児童に対して、精神科医や臨床心理士等による心のケアに努めた。地域との積極的な交流を行うとともに、実習生やボランティアを積極的に受け入れた。

### 1 利用者状況

#### (1) 入退所の状況 (人)

定員 区分	月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
	入所	2	0	0	3	0	1	1	2	1	0	1	3	14
140	退所	3	0	1	0	3	0	1	1	1	0	0	7	17
	在所	110	110	109	112	109	110	110	111	111	111	112	108	—

(「在所」は、各月末の児童数)

#### (2) 一時保護の状況 (人)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
新規受入 人数	2	0	2	0	1	1	1	1	0	0	0	0	8
一時保護 児童数	2	2	2	2	3	4	4	4	3	2	2	1	31
延人日数	35	45	12	62	63	88	93	90	86	62	31	31	698

※4月は3月からの継続を含む。

(「一時保護児童数」は、当該月に保護した月間の児童数)

#### (3) ショートステイ事業の受け入れ

実人数	延べ人数
4人	10人日

## 2 利用者支援

### (1) 児童一人ひとりの児童自立支援計画を策定し、児童相談所・学校・医療機関等関係機関と連携して児童及び保護者に対して支援を行った。

措置機関(児童相談所)別受託状況 令和4年3月31日現在(人)

	中央	南	川越	所沢	熊谷	越谷	草加	さいたま市	計
人数	5	8	25	28	21	13	6	2	108
比率	4.6%	7.4%	23.1%	26.0%	19.4%	12.0%	5.6%	1.9%	100.0%

### (2) 児童の自立に向けた支援

#### ア 社会・就労体験事業

施設周辺の協力企業と連携した児童の会社見学及び職場体験、アルバイトを通じた就労体験及びそれに対する助言指導を行った。

職場体験参加児童数	参加延べ日数	受入企業数
8人	23日	5社
会社見学参加児童数	アルバイト助言・指導人数	
7人※	8人	

※新型コロナウイルス感染症の影響で見学が行えず、振り替えとして県のリアル体験教室に参加した。

#### イ 児童自立サポーターズによる就職・進学支援事業

民間企業OB及び地域の経営者等で構成するサポーターズの協力により、模擬面接及び社会人としての心構えの指導などを行った。

模擬面接実施人数	「社会人(進学含む)の心構え」指導人数
4人	4人

ウ 就職・進学状況

学 年	人 数	進路状況
中 3	9人	・全日制高校 8人 ・特別支援学校 1人
高 3 (特別支援学校)	8人 (4人)	・就職6人 ・進学(四年制) 1人 ・福祉的就労 1人

(3) 退所児童に対するアフターケア

自立支援担当職員を中心に退所後の児童の状況の把握、相談や課題の解決などの支援を行った。(回)

相談者	アフターケア実施内容						計	本人以外計	合計
	電話	来園	勤務先訪問	家庭訪問	その他				
					メール	その他			
退所児童(本人) (56人)	214	48	0	16	98	41	417	189	606
本人以外	保護者	26	0	0	0	1	27		
	児相	76	0	0	0	8	84		
	職場	3	1	0	0	0	4		
その他	65	0	0	0	0	9	74		

(4) 心理ケアの実施状況

被害待児や心的外傷を受けた児童について、精神科医受診及び臨床心理士、心理担当職員による心理ケア等を行った。

区 分	実人数	延べ回数	職員への助言・指導
医 師	25人	218回	23回
臨床心理士等	39人	434回	121回

(5) 家族宿舎等を活用した自活訓練

高校2～3年生を対象に予定したが、新型コロナウイルスの隔離部屋対応に利用したため、実施できなかった。

実人数	延べ回数	延べ日数
0人	0回	0日

(6) 健康管理の状況

入所児童の健康管理については、毎朝の連絡会等を通じて児童の健康状態を常時把握するとともに、各種予防接種、定期健康診断を行い、疾病の予防、早期発見、早期治療に努めた。

また、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、手洗いや手指消毒の徹底、毎日の検温実施、施設内の消毒などに努めた。

(7) 地域住民との交流・連携

新型コロナウイルスの感染予防に努めつつ、可能な範囲で地域と共に歩む施設として、スポーツ少年団の活動や、グラウンドゴルフの練習場として、会場の提供を行った。

また、近隣市町と連携し情報共有をしながら、子育て短期支援事業の受け入れを行い、地域の子育て支援に取り組んだ。

(8) 主な行事の実施状況 ※新型コロナウイルス感染拡大防止に留意し、実施。

年 月	主 な 行 事 内 容
令和3. 4	お花見昼食会
5	端午の節句・各寮行事(バーベキュー等)
7	七夕・納涼祭(施設内)
8	花火・日帰り行事
11	七五三、サッカー大会(施設内)
12	日帰り旅行、クリスマス会
令和4. 1	新年会、上里くらぶ
2	節分豆まき
3	ひな祭り・卒園行事、卒園・卒業を祝う会

- (9) ボランティアの受入れ※新型コロナウイルス感染拡大防止に留意し、実施。

受入延べ人数	主 な 内 容
37人	読み聞かせ、理髪、ピアノ、学習等

- (10) 実習生の受入れ※新型コロナウイルス感染拡大防止に留意し、実施。

区 分	実 人 数	延 べ 日 数
保育士実習	46人	518日
社会福祉士実習	3人	69日
計	49人	587日

- (11) 見学者の受入れ※新型コロナウイルス感染拡大防止に留意し、実施。

受入延べ人数
13人

### 3 利用者等のニーズの把握及び対応

意見箱を設置し、児童の要望等の把握に努めた。また児童会を実施し、意見の収集を行うとともに、日常的に対話を心がけ細かな要望にも対応するよう努めた。

また、嗜好調査・残菜調査を実施し、好みを取り入れた献立作りに努めるとともに、児童にアンケートを実施し、その結果を基に生活の改善に向け努力した。

### 4 施設・設備の維持管理

- (1) 工事の実施

Wi-Fi 環境の整備、ベランダの鉄柵の塗装工事、老朽化による幼児棟非常階段の付け替え工事を行った。

- (2) 保守点検の実施

児童の安全確保とサービスの向上及び施設環境を維持するため、計画的な施設・設備の保守点検等を実施し、適正な維持管理を行った。

- (3) 施設内点検

職員による定期的な施設内点検を実施し、改善・補修の必要性が生じた時には速やかに対応した。

### 5 危機管理への対応

- (1) 児童を災害から守るため、法令に基づく建物、防災機器及び各種機器設備等の保守点検を定期的に行い安全確保・事故防止に万全を期した。

- (2) 総合防災訓練、夜間想定訓練などを含め防災訓練を毎月1回実施し、災害予防と安全の確保に努めた。

- (3) 不審者対応等の防犯訓練を実施し、緊急時に対応できる体制を整えた。

- (4) 危機管理体制の充実

ア 新型コロナウイルス感染症対策

事業継続計画（BCP）を作成し、連絡会や会議等で職員へ周知、感染予防対策を講じた。

イ 夜間の勤務状況のチェック

園長、副園長などの管理職及び夜間リーダーが夜間の現場を不定期に巡回し、勤務状況のチェック・指導を実施した。

ウ 問題兆候への「気づき」

寮会議等における情報交換を綿密に行うとともに、セルフチェックなどの機会も利用し、寮職員全員で問題点やその兆候の把握に努めた。

エ 職員との面談と教育

園長が契約職員を含む全職員との個別面談を実施したほか、虐待防止及び権利擁護に関する研修を実施した。

### 6 職員の育成

- (1) 新任職員研修、権利擁護に関する事例検討会、性教育に係る研修、そだれん研修、里親制度に関する研修、ライフストーリーワークに関する研修、感染症対策研修を実施した。

- (2) リモートによるファミリーソーシャルワーク研修会など外部研修にも積極的に参加した。

### 3 おお里

入所児童が安全で安らぎのある生活が送れるよう養護するとともに、児童の自立に向けた支援を行った。

被虐待児など心に傷を負った児童に対して、精神科医や臨床心理士等による心のケアに努めた。

#### 1 利用者状況

(1) 入退所の状況 (人)

定員	月 区分	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
		116	入所	3	0	1	1	4	2	1	6	1	0	0
退所	2		3	1	1	1	1	0	1	0	0	1	4	15
在所	92		89	89	89	92	93	94	99	100	100	99	101	—

(「在所」は、各月末の児童数)

(2) 一時保護の状況 (人)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
新規受入 人数	4	3	3	1	2	1	1	1	0	1	0	0	17
一時保護 児童数	4	6	6	7	5	4	5	2	1	2	1	1	44
延人日数	98	140	136	139	141	92	127	23	31	25	28	28	1,008

※4月は3月からの継続を含む。

(「一時保護児童数」は、当該月に保護した月間の児童数)

#### 2 利用者支援

(1) 児童一人ひとりの児童自立支援計画を策定し、児童相談所・学校・医療機関等関係機関と連携して児童及び保護者に対して支援を行った。

措置機関（児童相談所）別受託状況

令和4年3月31日現在（人）

	中央	南	川越	所沢	熊谷	越谷	草加	さいたま市	計
人数	10	15	14	8	21	16	16	1	101
比率	9.9%	14.9%	13.9%	7.9%	20.8%	15.8%	15.8%	1.0%	100.0%

(2) 児童の自立に向けた支援

##### ア 社会・就労体験事業

施設周辺の協力企業と連携した児童の会社見学及び職場体験は新型コロナウイルス感染症拡大の影響のため実施できなかった。アルバイトを通じた就労体験及びそれに対する助言指導を行った。

職場体験参加児童数	参加延べ日数	受入企業数
0人	0日	0社
会社見学参加児童数	アルバイト助言・指導人数	
0人	15人	

##### イ 児童自立サポーターズによる就職・進学支援事業

民間企業OB及び地域の経営者等で構成するサポーターズの協力により、模擬面接及び社会人としての心構えの指導などを行った。

模擬面接実施人数	「社会人(進学含む)の心構え」指導人数
5人	5人

##### ウ 就職・進学の状況

学年	人数	進路状況
中 3	7人	・全日制高校 6人 ・特別支援学校 1人
高 3 (特別支援学校)	6人 (2人)	・就職 2人 ・進学 2人 ・その他 2人

※その他は、福祉的ケアに基づく就労

(3) 退所児童に対するアフターケア

自立支援担当職員を中心に退所後の児童の状況の把握、相談や課題の解決などの支援を行った。

(回)

相談者	アフターケア実施内容						計	本人以外計	合計
	電話	来園	勤務先訪問	家庭訪問	その他				
					メール	その他			
退所児童(本人) (46人)	127	45	1	18	156	21	368	392	760
本人以外	保護者	85	2	0	0	5	92		
	児相	137	4	0	1	18	161		
	職場	15	0	3	0	0	18		
	その他	100	2	3	0	0	16	121	

(4) 心理ケアの実施状況

被虐待児や心的外傷を受けた児童について、精神科医受診及び臨床心理士、心理担当職員による心理ケア等を行った。

区分	実人数	延べ回数	職員への助言・指導
医師	14人	127回	13回
臨床心理士等	51人	691回	206回

(5) 親子訓練棟を活用した自活訓練

高校生を対象に実施し、一人で生活する際の知識や技術の確認を行った。

実人数	延べ回数	延べ日数
18人	18回	43日

(6) ホームステイ事業の状況

家庭生活経験の少ない児童に対し、ボランティア家庭の協力によるホームステイ事業については、新型コロナウイルス感染症拡大のため、今年度はほとんど実施できなかった。

児童数	参加延べ日数
1人	1日

(7) 健康管理の状況

入所児童の健康管理については、毎朝の連絡会等を通じて児童の健康状態を常時把握するとともに、各種予防接種、定期健康診断を行い、疾病の予防、早期発見、早期治療に努めた。

また、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、手洗いや手指消毒の徹底、毎日の検温実施、施設内の消毒などに努めた。

(8) 地域住民との交流・連携

例年では、熊谷市中恩田地区など近隣で開催される行事への児童の参加や地域との共催の納涼祭を行うなど地域住民との交流を積極的に図っているのだが、今年度は新型コロナウイルス感染症拡大のため、感染予防に努めながらの開催となった。

(9) 主な行事の実施状況※新型コロナウイルス感染症拡大防止に留意し、実施。

年月	主な行事内容
令和3. 5	バーベキュー
6	ジャガイモ収穫
8	納涼祭
10	日帰り旅行
11	総合防災訓練
12	大根収穫 餅つき会



- (10) ボランティアの受入れ※新型コロナウイルス感染拡大防止に留意し、実施。

受入延べ人数	主 な 内 容
33人	生活支援ボランティア

- (11) 実習生の受入れ※新型コロナウイルス感染拡大防止に留意し、実施。

区 分	実 人 数	延 べ 日 数
保育士実習	52人	587日

- (12) 見学者の受入れ※新型コロナウイルス感染症拡大のため、中止。

受入延べ人数
0人

### 3 利用者等のニーズの把握及び対応

児童会の定期的な開催や意見箱の設置、満足度調査、アンケートの実施等を通し、児童及び家族の意向や要望を把握し、支援内容の向上に努めた。

### 4 施設・設備の維持管理

- (1) 工事の実施

管理棟内装及び外構工事、高齢児棟空調設備工事、厨房ダクト工事、渡り廊下扉サッシ修繕等を実施した。

- (2) 保守点検の実施

児童の安全確保とサービスの向上及び施設環境を維持するため、計画的な施設・設備の保守点検等を実施し、適正な維持管理を行った。

- (3) 施設内点検

職員による定期的な施設内点検を実施し、改善・補修の必要性が生じた時には速やかに対応した。

### 5 危機管理への対応

- (1) 児童を災害から守るため、法令に基づく建物、防災機器及び各種機器設備等の保守点検を定期的に行い、安全確保・事故防止に万全を期した。

- (2) 総合防災訓練、夜間想定訓練、地震・水害対策などを含めた防災訓練を毎月1回実施し、災害予防と安全の確保に努めた。

- (3) 危機管理体制の充実

ア 新型コロナウイルス感染症対策

事業継続計画（BCP）の作成や施設内感染対策の定期的な見直し、必要備品の購入を行い、連絡会や会議等で職員へ周知し、感染予防対策を講じた。

イ 夜間の勤務状況のチェック

園長、副園長などの管理職及び夜間リーダーが夜間の現場を不定期に巡回し、勤務状況のチェック・指導を実施した。

ウ 問題兆候への「気づき」

階会議等において情報交換を綿密に行うとともに、職員全員で問題点やその兆候の把握に努めた。

エ 職員との面談と教育

園長が契約職員を含む全職員との個別面談を実施したほか、虐待防止及び権利擁護に関する研修を実施した。

### 6 職員の育成

- (1) 大学と連携し、他の児童養護施設と合同で処遇困難児童等に係る事例検討会を実施した。

- (2) 全体会議において、職員が参加した研修の報告を行うことで研修成果の水平展開を図り、育成に努めた。

## 4 いわつき

入所児童が安全で安らぎのある生活が送れるよう養護するとともに、児童の自立に向けた支援を行った。

被虐待児など心に傷を負った児童に対して、精神科医や臨床心理士等による心のケアに努めた。

### 1 利用者状況

#### (1) 入退所の状況

##### ア 児童養護施設

(人)

定員	月 区分	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
		88	入所	2	2	2	0	1	0	0	0	0	2	0
退所	0		1	0	0	0	3	2	1	1	0	1	12	21
在所	84		85	87	87	88	85	83	82	81	83	82	76	—

##### イ 乳児院

(人)

定員	月 区分	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
		9	入所	0	0	2	0	0	0	0	2	0	0	0
退所	1		1	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	4
在所	7		6	7	7	7	7	7	9	9	8	8	8	—

(「在所」は、各月末の児童数)

#### (2) 一時保護の状況

##### ア 児童養護施設

(人)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
新規受入数	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0	2	0	4
一時保護数	0	0	1	1	0	0	0	0	1	0	2	2	7
延人日数	0	0	13	31	0	0	0	0	11	0	19	62	136

##### イ 乳児院

(人)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
新規受入数	0	1	1	1	0	0	0	0	0	0	1	0	4
一時保護数	0	1	2	1	0	0	0	0	0	0	1	1	6
延人日数	0	8	45	7	0	0	0	0	0	0	25	31	116

※4月は3月からの継続を含む。

(「一時保護児童数」は、当該月に保護した月間の児童数)

#### (3) ショートステイ事業の受け入れ (里親レスパイト含む)

児童養護		乳児院	
2人	延べ11日	1人	延べ7日

### 2 利用者支援

(1) 児童一人ひとりの児童自立支援計画を策定し、児童相談所・学校・医療機関等関係機関と連携して児童及び保護者に対して支援を行った。

##### ア 児童養護施設・措置機関 (児童相談所) 別受託状況

令和4年3月31日現在 (人)

	中央	南	川越	所沢	熊谷	越谷	草加	さいたま市	計
人数	16	10	10	10	3	10	5	12	76
比率	21.1%	13.2%	13.2%	13.2%	3.9%	13.2%	6.5%	15.7%	100.0%

##### イ 乳児院・措置機関 (児童相談所) 別受託状況

令和4年3月31日現在 (人)

	中央	南	川越	所沢	熊谷	越谷	草加	さいたま市	計
人数	0	0	0	1	0	0	0	7	8
比率	0.0%	0.0%	0.0%	12.5%	0.0%	0.0%	0.0%	87.5%	100.0%

(2) 児童の自立に向けた支援

ア 社会・就労体験事業

施設周辺の協力企業と連携した児童の職場体験、アルバイトを通じた就労体験及びそれに対する助言指導を行った。

職場体験参加児童数	参加延べ日数	受入企業数
1人	4日	1社
会社見学参加児童数	アルバイト助言・指導人数	
4人	8人	

イ 児童自立サポーターズによる就職・進学支援事業

民間企業OB及び地域の経営者等で構成するサポーターズの協力により、模擬面接及び社会人としての心構えの指導などを行った。

模擬面接実施人数	「社会人(進学含む)の心構え」指導人数
3人	3人

ウ 就職・進学の状況

学 年	人 数	進路状況
中 3	5人	・全日制高校 5人 ・特別支援学校 0人
高 3 (特別支援学校)	6人 (3人)	・進 学 2人 ・就 職 4人

(3) 退所児童に対するアフターケア

自立支援担当職員を中心に退所後の児童の状況の把握、相談や課題の解決などの支援を行った。

(児童養護施設)

(回)

相談者	アフターケア実施内容						計	本人以外計	合計	
	電話	来園	勤務先訪問	家庭訪問	その他					
					メール	その他				
退所児童(本人) (116人)	285	66	3	15	155	61	585	410	995	
本人以外	保護者	77	0	0	0	1	8			86
	児相	45	0	0	0	0	9			54
	職場	8	0	0	0	0	1			9
その他	188	0	0	0	14	59	261			

(乳児院)

退所乳児数	アフターケア回数
30人	138回

(4) 心理ケアの実施状況

被虐待児や心的外傷を受けた児童について、精神科医受診及び臨床心理士、心理担当職員による心理ケア等を行った。

(児童養護施設)

区 分	実人数	延べ回数	職員への助言・指導
医 師	32人	256回	10回
臨床心理士等	37人	910回	174回

(乳児院)

区 分	実人数	延べ回数	職員への助言・指導
臨床心理士	4人	74回	86回

(5) 親子訓練室を活用した自活訓練

高校生を対象に実施し、ひとりで生活する際の知識や技術の確認を行った。

実人数	延べ回数	延べ日数
8人	8回	27日

(6) 健康管理の状況

入所児童の健康管理については、毎朝の連絡会等を通じて児童の健康状態を常時把握するとともに、各種予防接種、定期健康診断を行い、疾病の予防、早期発見、早期治療に努めた。

また、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、手洗いや手指消毒の徹底、毎日の検温実施、施設内の消毒などに努めた。

(7) 地域住民との交流・連携

ア 地域関係者との連絡会は、新型コロナウイルス感染症の流行により、園児の濃厚接触者や陽性者の管理棟2階での隔離状態が頻回したため、懇談会は中止とした。

イ 新型コロナウイルス感染症対策に留意し、地域との連携を深めるため挨拶運動や地域の清掃活動を実施した。

(8) 里親に関する状況

ア 里親委託

乳児院では、家庭引取りが難しい幼児について、児童相談所と連携し里親委託に向けて調整した結果、令和3年度2名の幼児が里親との交流を開始した。児童養護では、1名の児童が里親委託に向けて交流を開始した。

イ 里親への支援

施設から委託した里親を中心に、地域の里親と未委託里親を含めた懇談会を実施し、近況を確認するとともに養育相談に対する助言等を行った。2月のみオンラインで実施した。

懇談会実施状況

実施日	参加人数
7月3日	7組12人
10月31日	10組14人
2月19日	6組8人

(9) 主な行事の実施状況※新型コロナウイルス感染拡大防止に留意し、実施。

年月	主な行事内容
令和3. 4	花見
5	鯉のぼり掲揚
7	七夕 ※棟日帰り旅行(8月~11月)
9	乳児院お月見
10	乳児院ハロウィン
11	七五三
12	クリスマス会、餅つき
令和4. 2	節分
3	ひな祭り、卒園行事

(10) ボランティアの受入れ※新型コロナウイルス感染拡大防止に留意し、実施。

受入延べ人数		主な内容
児童養護施設	乳児院	学習・余暇支援、理髪等
100人	0人	

(11) 実習生の受入れ※新型コロナウイルス感染拡大防止に留意し、受入れ中止の期間もあった。

ア 児童養護施設

区分	実人数	延べ日数
保育士実習	65人	667日
社会福祉士実習	3人	69日
計	68人	736日

## イ 乳児院

区 分	実 人 数	延 べ 日 数
保育士実習	15人	136日

(12) 見学者の受入れ(延べ人数) ※新型コロナウイルス感染拡大防止に留意し、実施。

児童養護施設	乳児院
104人	104人

### 3 利用者等のニーズの把握及び対応

児童会の開催や意見箱の設置、満足度調査、アンケートの実施等を通し、児童及び家族の意向や要望を把握し、支援内容の向上に努めた。

### 4 施設・設備の維持管理

#### (1) 工事の実施

全館の屋上防水と建具交換、管理棟・厨房棟・東棟・北棟の壁面塗装、Wi-Fi 環境の追加整備、西棟前と車庫前の駐車場整備、管理棟玄関スロープの改修、カーテン交換、棟執務室と乳児院遊戯室の畳替等を実施した。

#### (2) 保守点検の実施

児童の安全確保とサービスの向上及び施設環境を維持するため、計画的な施設・設備の保守点検等を実施し、適正な維持管理を行った。

#### (3) 施設内点検

職員による定期的な施設内点検を実施し、改善・補修の必要性が生じた時には速やかに対応した。

### 5 危機管理への対応

(1) 児童を災害から守るため、法令に基づく建物、防災機器及び各種機器設備等の保守点検を定期的に行い安全確保・事故防止に万全を期した。

(2) 総合防災訓練、夜間想定訓練などを含め防災訓練を毎月1回実施し、災害予防と安全の確保に努めた。また、乳児院に係る水防法避難確保計画を作成し、管轄市のさいたま市に提出した。

(3) 防犯の取り組み状況として、緊急通報システムを継続契約している。防犯訓練については、全体会議で防犯に対する意識向上のための講義を実施した。

#### (4) 危機管理体制の充実

##### ア 新型コロナウイルス感染症に関する対策

緊急事態や蔓延防止策の発出に伴い、園としての対応策をその都度職員・園児に通達した。

##### イ 夜間の勤務状況のチェック

園長、副園長などの管理職及び夜間リーダーが夜間の現場を不定期に巡回し、勤務状況のチェック・指導を実施した。

##### ウ 問題兆候への「気づき」

棟会議等における情報交換を綿密に行うとともに、ニーズ調査などの機会も利用し、棟職員全員で問題点やその兆候の把握に努めた。

##### エ 職員との面談と教育

園長が契約職員を含む全職員との個別面談を実施したほか、権利擁護に関する研修を実施した。

### 6 職員の育成

(1) 「事例検討会」や採用2年未満職員による研修として「日々の業務の振り返り・権利擁護」等について施設内研修を実施した。

(2) 外部研修については、新型コロナウイルス感染症対策の観点から対面式の研修会は避け、オンラインやオンデマンド型の研修を積極的に取り入れた。

(3) 性教育に関する研修として、助産師を講師とした職員研修及び職員による座談会を実施した。

## 5 花園

利用者が安全で自立した生活ができるよう、利用者の特性に応じた支援を行うとともに、作業等を通して利用者の社会参加を促進した。

また、短期入所の受入れやグループホームの運営等により在宅障害児（者）の支援を行った。

### 1 利用者状況

#### (1) 入退所の状況 (人)

施設種別		性別	定員	前年度末	入 所	退 所	年度末
障害者支援施設	入 所	男	—	54	1	1	54
		女	—	43	3	2	44
		計	110	97	4	3	98
	通 所	男	—	11	0	0	11
		女	—	4	0	0	4
		計	20	15	0	0	15
計	男	—	65	1	1	65	
	女	—	47	3	2	48	
	計	130	112	4	3	113	

#### (2) 退所の理由 (人)

施設種別		区分	地域 移行	死亡 (病気)	その他	計
障害者支援施設	入所		0	2	1 (障害者支援施設)	3
	通所		0	0	0	0
計			0	2	1	3

#### (3) 障害支援区分 令和4年3月31日現在 (人)

施設種別		区分	男	女	計	割合
障害者支援施設	入 所	6	45	33	78	79.6%
		5	8	9	17	17.3%
		4	1	2	3	3.1%
		計	54	44	98	100.0%
	通 所	6	2	0	2	13.3%
		5	6	1	7	46.7%
		4	2	2	4	26.7%
		3	1	1	2	13.3%
		計	11	4	15	100.0%

### 2 利用者支援

利用者ニーズに基づく個別支援計画を策定し、利用者の特性に応じた支援を行った。

#### (1) 日中支援の状況（他事業所を利用する8人を除く）

	小ホール班	センター班	農園芸班	リサイクル班	木工(通所)	計
男	1	27	10	15	11	64
女	20	10	0	7	4	41
計	21	37	10	22	15	105

## (2) 短期入所

在宅の障害児（者）のニーズに応えるため、短期入所を受け入れた。

区 分	受入延べ件数	延べ日数
障害者支援施設	366件	1,141日

※日中一時支援事業（128件 延べ128日）含む

## (3) グループホームの運営

令和4年3月31日現在（人）

名 称	定 員	利用人数
アパートメント花園	7	7
グループホーム小前田	4	4
計	11	11

## (4) 健康管理の状況

日ごろから利用者の健康観察を行うとともに、定期的に健康診断を実施して疾病の早期発見・早期治療及び予防に努めた。

また、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、手洗いや手指消毒の徹底、毎日の検温実施、施設内の消毒などに努めた。（人）

区分	科目									
	精神科	内 科	外 科	眼 科	耳鼻科	婦人科	歯 科	皮膚科 泌尿器科	健康診断	計
通 院	1,351	1,857	126	19	28	23	235	31	306	3,976
内 訳	嘱託医	1,346	1,654	0	0	28	8	0	306	3,342
	その他	5	203	126	19	0	15	235	0	634
入 院	0	4	3	0	0	0	0	0	0	7

## (5) 主な行事の実施状況※新型コロナウイルス感染拡大防止に留意し、実施。

年 月	主 な 行 事 内 容
令和3. 5	園内余暇（デザート喫食・映写会）
6	園内余暇（七夕行事）
7	園内余暇（かき氷喫食）、福祉避難所設置訓練
8	園内余暇（調理体験）
9	園内余暇（ソフトクリーム喫食）
10	園内余暇（ハロウィン）
11	ふれあいの集い、園内余暇（衣類販売会）、総合防災訓練 ボランティアコンサート
12	園内余暇（調理体験）、クリスマス会
令和4. 1	初詣、新年会、園内余暇（書道）

## (6) ボランティアの受入れ※新型コロナウイルス感染拡大防止に留意し、実施。

受入延べ人数	主 な 内 容
49人	お茶・お花教室等

## (7) 実習生の受入れ※新型コロナウイルス感染拡大防止に留意し、実施。

区 分	実 人 数	延 べ 日 数
保育士実習	66人	761日
社会福祉士実習	3人	69日
計	69人	830日

## (8) 見学者の受入れ※新型コロナウイルス感染拡大防止に留意し、実施。

受入延べ人数
20人

### 3 利用者等のニーズの把握及び対応

日常的な利用者との関わりや利用者の会、保護者への電話での聞き取り、意見箱の設置、満足度調査、食事の嗜好調査等を通して、利用者及び保護者の意向や要望を把握し支援内容の向上に努めた。

### 4 施設・設備の維持管理

#### (1) 保守点検の実施

利用者の安全確保とサービスの向上及び施設環境を維持するため、計画的な施設・設備の保守点検等を実施し、適正な維持管理を行った。

#### (2) 施設内点検

職員による定期的な施設内点検を実施し、改善・補修の必要性が生じた時には速やかに対応した。

### 5 危機管理への対応

(1) 利用者を災害から守るため、法令に基づく建物、防災機器及び各種機器設備等の保守点検を定期的に行い安全確保・事故防止に万全を期した。

(2) 総合防災訓練を年1回実施するほか、利用者の障害状況等を考慮の上、消火・避難誘導訓練等を毎月実施し災害予防と安全の確保に努めた。

(3) 福祉避難所設置訓練は、新型コロナウイルス感染症対策から深谷市防災課との共同での実施は避け施設のみで実施した。

#### (4) 危機管理体制の充実

##### ア 新型コロナウイルス感染症対策

事業継続計画（BCP）を作成し、連絡会や全体研修から職員へ周知、感染予防対策を講じた。しかし、1月から2月にかけて男子棟1寮及び2寮において利用者・職員にコロナ陽性者が多数判明し、保健所やCOVMATからの指導を受ける状況となった。収束後、速やかに状況分析・課題を抽出し、今後の感染に備えるための報告会を実施した。

##### イ 夜間の勤務状況のチェック

園長、副園長などの管理職及び夜間リーダーが夜間の現場を不定期に巡回し、勤務状況のチェック・指導を実施した。

##### ウ 問題兆候への「気づき」

寮会議等における情報交換を綿密に行うとともに、ニーズ調査などの機会も利用し、寮職員全員で問題点やその兆候の把握に努めた。

##### エ 職員との面談と教育

園長及び副園長が、契約職員を含む全職員との個別面談を実施したほか、虐待防止に関する研修を実施した。

### 6 職員の育成

(1) 新型コロナウイルス感染症対策として、オンライン研修を中心とした施設内研修を整備し実施した。

(2) 施設入所支援に配置する職員に対し強度行動障害支援者養成研修を受講させた。

(3) 虐待防止への意識向上を図るため、虐待防止関連のDVD視聴、ワークシートを活用したグループワークを中心とした全体研修を実施し、虐待防止への意識付けを行った。また、新規採用職員等を対象にメンター制度を実施した。



## 6 あげお

利用者が安全で自立した生活ができるよう、利用者の特性に応じた支援を行うとともに、活動等を通して利用者の社会参加を促進した。

また、コロナ禍ではあったが、短期入所の受入れやグループホームの運営、相談支援事業等により在宅障害児（者）の支援を行った。

### 1 利用者状況

#### (1) 入退所の状況 (人)

施設種別	性別	定員	前年度末	入 所	退 所	年度末	
障害者支援施設	入 所	男	—	41	2	3	40
		女	—	38	2	0	40
		計	80	79	4	3	80
	通 所	男	—	9	2	4	7
		女	—	10	2	1	11
		計	20	19	4	5	18
計	男	—	50	4	7	47	
	女	—	48	4	1	51	
	計	100	98	8	8	98	

#### (2) 退所の理由 (人)

施設種別	区 分	地域 移行	死亡 (病気)	その他	計
障害者支援施設	入所	0	0	3 (特養・入院)	3
	通所	2 (就労・グループホーム)	0	3 (入所施設・特養)	5
計		2	0	6	8

#### (3) 障害支援区分 令和4年3月31日現在(人)

		区分	男	女	計	割合
障害者支援施設	入 所	6	37	22	59	73.8%
		5	3	13	16	20.0%
		4	0	5	5	6.2%
		計	40	40	80	100.0%
	通 所	6	3	0	3	16.7%
		5	3	4	7	38.9%
		4	2	5	7	38.9%
		3	1	0	1	5.5%
		計	9	9	18	100.0%

### 2 利用者支援

利用者ニーズに基づく個別支援計画を策定し、利用者の特性に応じた支援を行った。

#### (1) 日中支援の状況 (入所利用者と通所利用者の合計) (人)

	Aグループ (手工芸・陶芸・園芸・受託加工・音楽・表現・身体・スポレク等)	Bグループ (軽作業・表現・音楽・身体活動等)	Cグループ (散歩、表現・音楽・ビーズ通し・ドライブ等)	計
男	16	21	10	47
女	26	14	11	51
計	42	35	21	98

(2) 短期入所

在宅の障害児（者）のニーズに応えるため、短期入所を受け入れた。

区 分	受入延べ件数	延べ日数
障害者支援施設	799件	2,436日

※日中一時支援事業（329件 延べ329日）含む

(3) グループホームの運営

令和4年3月31日現在（人）

名 称	定 員	利用人数
グループホームあげお	6	5
サテライトあげお	1	0
グループホームひらつか	5	5
グループホームふたつみや	5	5
計	17	15

(4) 健康管理の状況

日ごろから利用者の健康観察を行うとともに定期的に健康診断を実施して、疾病の早期発見・早期治療及び予防に努めた。

また、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、手洗いや手指消毒の徹底、毎日の検温実施、施設内の消毒などに努めた。

（人）

科目 区分	精神科	内科	整形外科	眼科	耳鼻科	婦人科	歯科	皮膚科	外科	救急 外来	泌尿 器科	健康 診断	その 他	計
通院	550	530	71	43	22	3	177	23	40	3	32	297	11	1,802
内 訳	嘱託医	482	468	27	2	0	0	0	0	0	0	0	0	979
	その他	68	62	44	41	22	3	177	23	40	3	32	297	823
入院	1	3	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	7

(5) 相談支援事業

障害者相談支援事業及び障害児等療育支援事業を実施し、在宅の障害児（者）を支援した。

ア 障害者相談支援事業

（件）

訪 問	来 所	電 話	計
481	191	1,953	2,625

イ 障害児等療育支援事業

（件）

在宅支援訪問療育等指導	在宅支援外来療育等指導	施設支援一般指導	計
295	155	96	546

※他に上尾市・伊奈町の発達支援巡回事業を幼稚園等20カ所を対象に、延べ46回実施した。

(6) 主な行事の実施状況※新型コロナウイルス感染拡大防止に留意し、実施。

年 月	主 な 行 事 内 容
令和3. 6	ミニ運動会
7	七夕イベント、あげおまつり 「第3回あげお作品展～COCORON～」上尾市役所にて
9	花火・紅葉の映像鑑賞会、長寿を祝う会
10	ハロウィンイベント、フォトスポット「テーマ：ハロウィン」
11	レクリエーション大会
12	年末お楽しみ会、ケーキの会、フォトスポット「テーマ：クリスマス」
令和4. 1	新年を祝う会
令和4. 3	フォトスポット「テーマ：ひなまつり」

(7) ボランティアの受入れ※新型コロナウイルス感染拡大防止に留意し、実施。

受入延べ人数	主 な 内 容
38人	手工芸、活動ボラ等

(8) 実習生の受入れ※新型コロナウイルス感染拡大防止に留意し、実施。

区 分	実 人 数	延 べ 日 数
保育士実習	40人	459日
社会福祉士実習	2人	44日
計	42人	503日

- (9) 見学者の受入れ※新型コロナウイルス感染拡大防止に留意し、実施。

受入延べ人数
97人

### 3 利用者等のニーズの把握及び対応

日常的な利用者との関わりや利用者参加の生活委員会、家族との連絡、意見箱の設置、満足度調査、食事の嗜好調査等を通し、利用者及び家族の意向や要望を把握し、支援内容の向上に努めた。

### 4 施設・設備の維持管理

#### (1) 保守点検の実施

利用者の安全確保とサービスの向上及び施設環境を維持するため、計画的な施設・設備の保守点検等を実施し、適正な維持管理を行った。

#### (2) 施設内点検

職員による定期的な施設内点検を実施し、改善・補修の必要性が生じた時には速やかに対応した。

### 5 危機管理への対応

- (1) 利用者を災害から守るため、法令に基づく建物、防災機器及び各種機器設備等の保守点検を定期的に行い安全確保・事故防止に万全を期した。

- (2) 年1回総合防災訓練を行うとともに利用者の障害特性を考慮の上、消火・避難誘導訓練等を実施し、災害予防と安全の確保に努めた。

- (3) 災害非常発生時の体制構築訓練や伝言ダイヤル等緊急伝達訓練の実施及び備蓄品の整備を行い、災害発生時の即応体制を整えた。

#### (4) 危機管理体制の充実

##### ア 新型コロナウイルス感染症対策

新型コロナウイルス感染症の対応の改善に応じて新型コロナウイルス感染症対応マニュアルを改正し、全職員へ周知するとともに、ガウン着脱・ゾーニング訓練等を実施し、緊急時の対応に向けて取り組んだ。

また、より効果的かつ具体的な対策を実施できるよう、同じ種別の近隣施設と情報交換会を実施した。

##### イ 夜間の勤務状況のチェック

園長、副園長などの管理職及び夜間リーダーが夜間の現場を不定期に巡回し、勤務状況のチェック・指導を実施した。

##### ウ 問題兆候への「気づき」

部署会議等における情報交換を綿密に行うとともに、ニーズ調査などの機会も利用し、部署職員全員で問題点やその兆候の把握に努めた。

##### エ 職員との面談と教育

園長及び副園長が契約職員を含む全職員との個別面談を実施したほか、虐待防止に関する研修を実施した。

### 6 職員の育成

- (1) 職員の資質向上を図るため、施設内研修（救急法・蘇生法・摂食嚥下・新型コロナウイルス感染症・虐待防止・倫理綱領と行動基準・権利擁護・記録システムによる ICT 化等）を実施するとともに、外部機関主催の研修については WEB 研修を活用し、支援・業務及び危機管理等に関する幅広い知識を学んだ。

- (2) 適切な支援の提供と業務遂行能力を高めるため、個別支援計画の作成時や支援場面において上位・経験職員による個別指導を実施するとともに、必要に応じて助言・指導が行えるよう個別研修体制を整え、正規職員と契約職員相互の資質向上に努めた。また、施設内研修の充実を図るため新採・転入1年目の職員から主任、監督者までを対象に研修体系を整え、階層別研修としてスキルアップ研修を実施した。